

安全対策



マルチコプターの使用しての撮影は「安全第一」を基本とし、様々なシーンに最適な機体を選出し、弊社では機体開発、製造、販売を手がける株式会社 enRoute 社との業務提携により、常に最良の安全対策を考えつつマルチコプターの空撮を行っております。マルチコプターの機体は製造元との業務提携により常に最良の安全対策を考えて「安全第一」で撮影させていただいております。(機材本体の安全ガード装着なども配慮いたしております。)

しかしながら空を飛ぶ物は飛行機や有人ヘリコプターと同じ墜落というリスクは常にございます。可能性をゼロに近づける為に、日々機体整備や検証をすると共に事前にロケ地の環境・気象や許可申請の有無など、最大限にリスクを減らす策を考えていきます。万が一の場合に備え対物対人保険併せて5億円の対人保険加入済みです。



安全対策 ①

飛行撮影中はリアルタイム無線画像転送装置を使用して常に機体の状態(高度、バッテリー残量、GPS 感度など)を確認。



安全対策 ②

常時2人以上のスタッフでマルチコプターを目視で確認して周囲の安全を確認しつつ撮影。



安全対策 ③

機体の墜落リスクを軽減する強化フェイルセーフ機能付自律航行ユニットを搭載、送信機からの電波を受信できなくなった場合はフェイルセーフ機能が ON になり離陸場所に自動帰還します。



安全対策 ④

室内などの接触の危険がある場所での撮影にガード付きの大小の機体をご用意しております。

当方の判断により以下条件の場合は、撮影を中断

または中止とさせていただきます。

予めご了承の上、ご理解いただきますよう宜しくお願いします。

- ・電線、変電所(変電所 150m 以内が撮影場所の場合は法令により撮影不可)

- ・強風(風速 6m 以上)降雪、降雨、雷など

- ・極度な低温(−5°C以下)および高温(+35°C以上)

(その他、機器やバッテリーに支障をきたすと判断される場合)

- ・周辺環境の変化(人や車の往来など)

- ・航空法により飛行を禁止された領域(具体的には飛行場から半径 7km 以内)

- ・ A 帯・ B 帯ワイヤレスマイクやイベント及び業務用無線を使用してる現場